

平成 21 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社京王ズホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐々木英輔
(コード番号 3731 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 深野道照
(TEL. 022-722-0333)

平成 21 年 10 月期 第3四半期累計期間の業績見通しについて

平成 21 年 10 月期 第2四半期連結累計期間の業績予想の修正を、平成 21 年 6 月 12 日に行いましたが、最近の業績の動向等を踏まえ、第3四半期累計期間(平成 20 年 11 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日)の業績見通しについてお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 10 月期 第3四半期連結累計期間の業績見通し

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前第3四半期実績 (A)	9,721	97	51	115	3,172 円 06 銭
今回発表見通し (B)	9,250	278	320	240	4,391 円 90 銭
増 減 額 (B-A)	△471	181	269	125	
増 減 率	△4.8%	186.6%	527.5%	108.7%	

(百万円)

2. 平成 21 年 10 月期 第3四半期個別累計期間の業績見通し

	営 業 収 益	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前第3四半期実績 (A)	181	△31	△37	△38	△1,056 円 63 銭
今回発表見通し (B)	393	201	192	191	3,495 円 22 銭
増 減 額 (B-A)	212	232	229	229	
増 減 率	117.1%	—	—	—	

(百万円)

3. 第3四半期累計期間の業績見通しについて

(1) 連結

今回発表の第3四半期累計期間の業績見通しは、売上高 9,250 百万円、営業利益 278 百万円、経常利益 320 百万円、四半期純利益 240 百万円で、売上高は前年同期比 4.8%減ですが、営業利益 186.6%増、経常利益 527.5%増、四半期純利益 108.7%増と利益面では大幅な増加を見込んでおります。

その主な要因といたしましては、以下のとおりです。

- ① 携帯電話の市場動向が低迷する中、当社グループの基本方針であるクオリティの向上を図り、お客様に選ばれる店舗を構築して他店との差別化を達成することによって店舗運営の効率化が図られ、利益の大幅増となっております。
- ② 移動体通信事業者が提供するサービスの多様化により、移動体端末に追加するオプション件数が増加し、結果的に一台当たり利益率が向上しております。
- ③ 前期より店舗賃料を始めとして全社的に徹底的な無駄の取り除きを継続し、コストの見直しを図っております。

(2) 個別

個別業績見通しにつきましては、前年同期においては「J-SOX 法」対応等の本部費用を計上してはいたしましたが、当期におきましては、内部統制システムの導入により業務効率を向上させるとともに、全般的に徹底的なコストの見直しを図りました。その結果、第3四半期累計期間で営業収益 393 百万円、営業利益 201 百万円、経常利益 192 百万円、四半期純利益 191 百万円を見込んでおります。

4. 通期業績予想について

平成21年10月期の通期業績予想につきましては、現時点では変更しておりません。現在の景気の先行き不透明な状況のもと、テレマーケティング事業におきまして、秋田コールセンターを仙台の西多賀コールセンターへ集約して設備の効率的活用を図ったうえで、今後を見据えた組織体制作りを進めております。通期業績予想につきましては現在精査中であり、第3四半期決算開示までに開示する予定となっておりますが、現時点での実績をもとに第3四半期累計期間の業績見通しについてお知らせいたします。

今後とも、四半期の業績の見通しについて開示すべき事態が発生いたしましたら、第2四半期、通期に関わらず、適宜開示いたします。

以 上

※ 業績見通しにつきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。